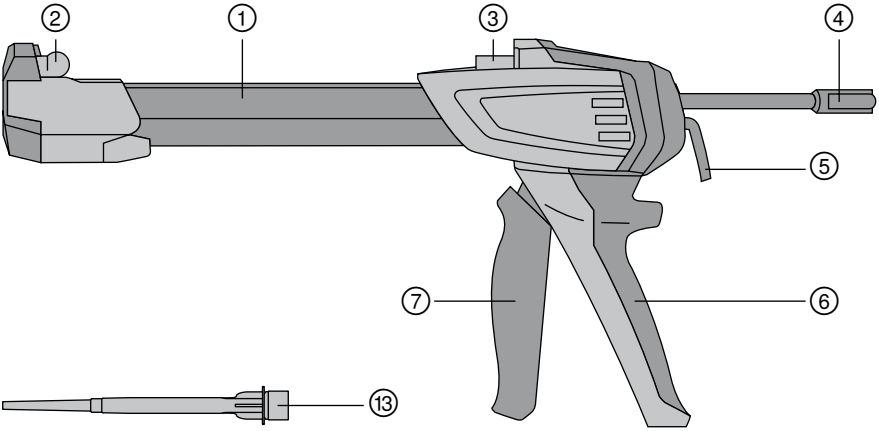
HDM 330/500

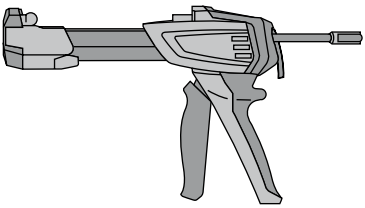
Bedienungsanleitung	de
Operating instructions	en
Mode d'emploi	fr
Istruzioni d'uso	it
Manual de instrucciones	es
Manual de instruções	pt
Gebruiksaanwijzing	nl
Brugsanvisning	da
Bruksanvisning	sv
Bruksanvisning	no
Käyttöohje	fi
Οδηγιες χρησεως	el
Használati utasítás	hu
Instrukcja obsługi	pl
Инструкция по эксплуатации	ru
Návod k obsluze	cs
Návod na obsluhu	sk
Upute za uporabu	hr
Navodila za uporabo	sl
Ръководство за обслужване	bg
Instrucțiuni de utilizare	ro
Kulllanma Talimatı	tr
دليل الاستعمال	ar
Lietošanas pamācība	lv
Instrukcija	lt
Kasutusjuhend	et
ІНСТРУКЦІЯ З ЕКСПЛУАТАЦІЇ	uk
Пайдалану бойынша басшылық	kk
取扱説明書	ja
사용설명서	ko
操 作 說 明 書	zh
操作说明书	cn

Printed: 14.11.2013 | Doc-Nr: PUB / 5069961 / 000 / 01

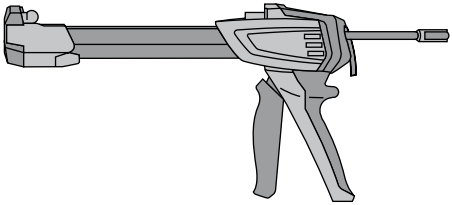
1



HDM 330

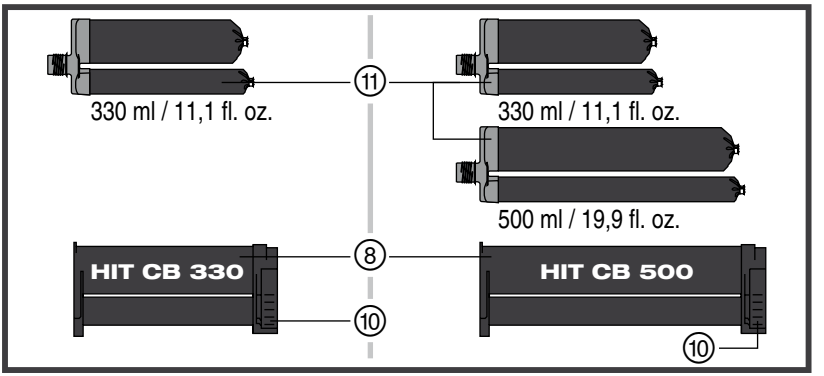


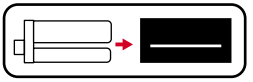
HDM 500

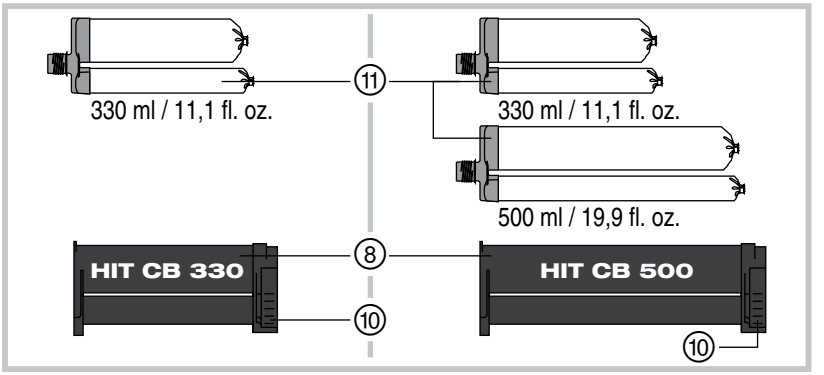


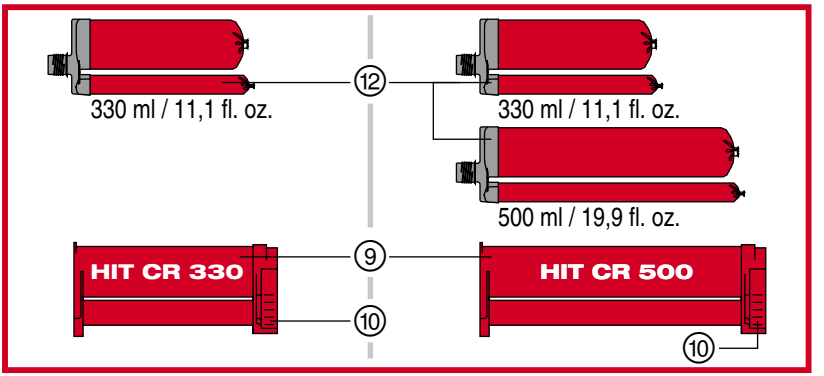
Printed: 14.11.2013 | Doc-Nr: PUB / 5069961 / 000 / 01

2



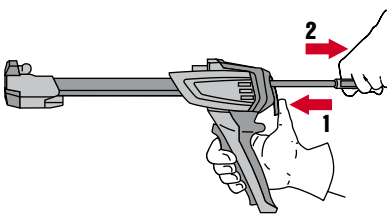




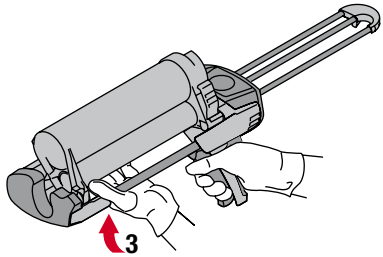


Printed: 14.11.2013 | Doc-Nr: PUB / 5069961 / 000 / 01

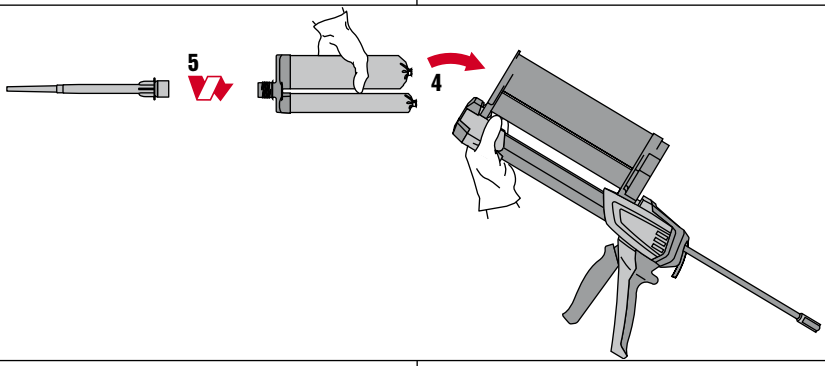
3



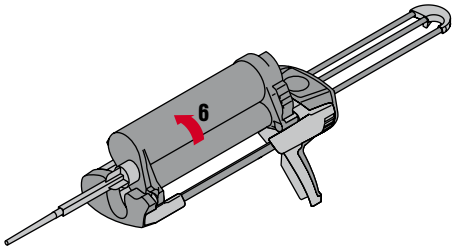
4



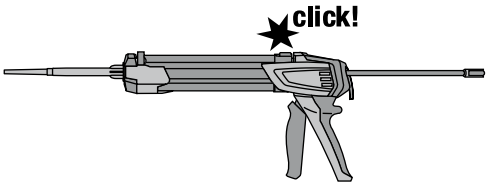
5



6

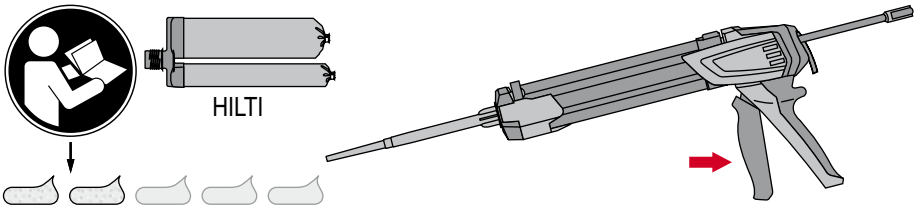


7

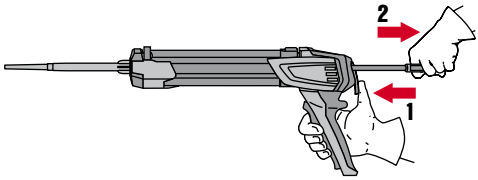


Printed: 14.11.2013 | Doc-Nr: PUB / 5069961 / 000 / 01

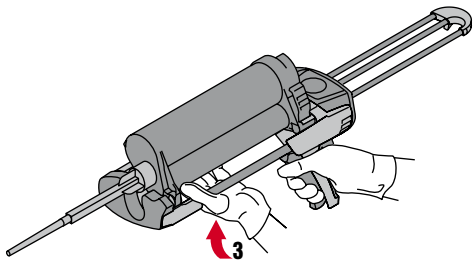
8



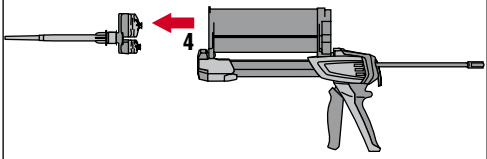
9



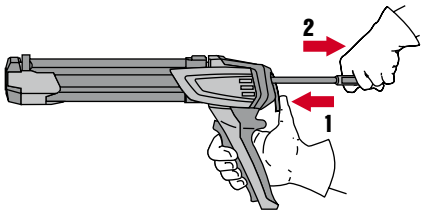
10



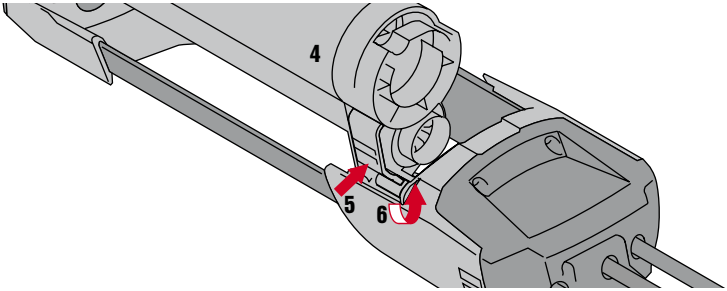
11



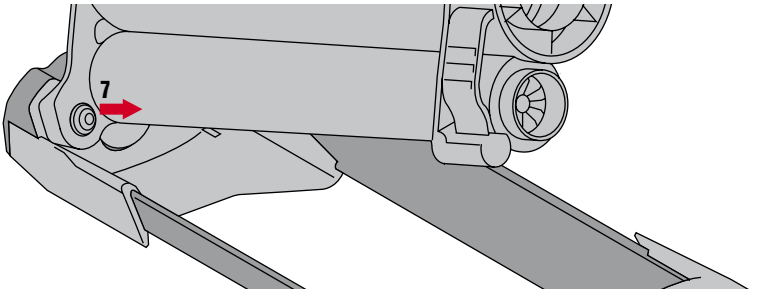
12



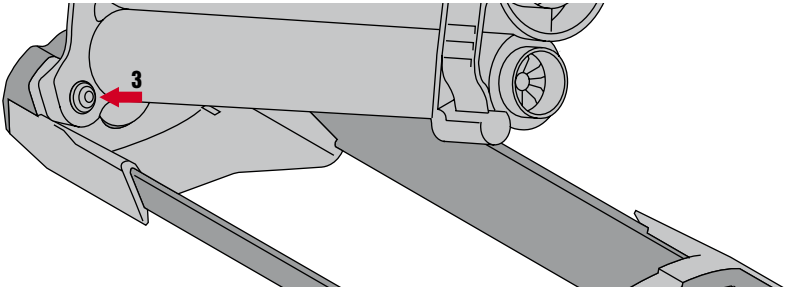
13



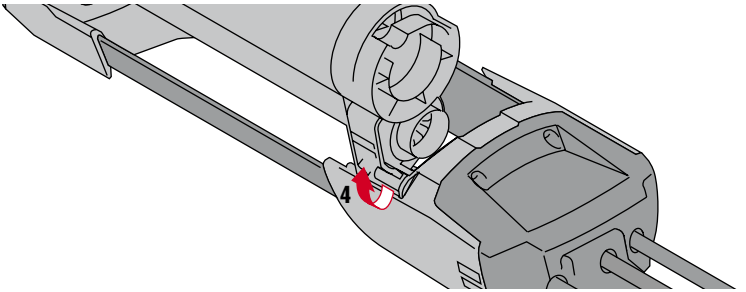
14



15



16



オリジナル取扱説明書

HDM 330/500 ディスペンサー

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は必ず本体と一緒に保管してください。

他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書を一緒にお渡しください。

目次	頁
1 一般的な注意	169
2 製品の説明	170
3 アクセサリー	170
4 安全上の注意	171
5 ご使用方法	171
6 手入れと保守	173
7 故障かな？ と思った時	173
8 廃棄	173
9 本体に関するメーカー保証	174

1 この数字は該当図を示しています。 図は二つ折りの表紙の中にあります。 取扱説明書をお読みの際は、これらのページを開いてください。
この取扱説明書で「本体」と呼ばれる工具は、常にヒルティ HDM 330 または HDM 500 手動ディスペンサーを指しています。

各部名称

① フォイルパックホルダー支持用のホルダー
② フォイルパックホルダー取付け用の前側ベアリングジャーナル
③ フォイルパックホルダー取付け用の後側ベアリングジャーナル
④ グリップ付き 2 連フィードロッド
⑤ リリースボタン
⑥ グリップ
⑦ 吐出と配分のための操作レバー

アクセサリー 1

⑧ 一体型ピストン付きホルダー（黒） 330 ml（11.1 fl.oz.） または 500 ml（16.9 fl.oz.）
⑨ 一体型ピストン付きホルダー（赤） 330 ml（11.1 fl.oz.） または 500 ml（16.9 fl.oz.）
⑩ フォイルパックホルダーのリリースボタン

消耗品

⑪ ヒルティ 2 コンポーネントフォイルパック（黒または白）、内容量：330 ml（11.1 fl.oz.） または 500 ml（16.9 fl.oz）
⑫ ヒルティ 2 コンポーネントフォイルパック（赤）、内容量：330 ml（11.1 fl.oz） または 500 ml(16.9 fl.oz.)
⑬ ミキシングノズル

1 一般的な注意

1.1 安全に関する表示とその意味

危険
この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。

警告事項
この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。

注意
この表記は、軽傷あるいは所持物の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

注意事項
この表記は、本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報を示す場合に使われます。

1.2 記号の説明と注意事項

警告表示

一般警告事項

義務表示

保護服を着用してください

保護メガネを着用してください

保護手袋を着用してください

ja

略号

ご使用前に取扱説明書をお読みください

リサイクル規制部品です

各国の廃棄物処理システム

2 製品の説明

2.1 正しい使用

本体はヒルティフォイルパックから樹脂を吐出する目的に使用します。
ヒルティ HDM 330 は、 ヒルティフォイルパックホルダー HIT CB 330 および HIT CR 330 専用です （図 1 を参照）。
ヒルティ HDM 330 は、 ヒルティフォイルパック （内容量 : 330ml（11.1 fl.oz）） 専用です。
ヒルティ HDM 500 は、 ヒルティフォイルパックホルダー HIT CB 500 および HIT CR 500 専用です （図 1 を参照）。
ヒルティ HDM 500 は、 ヒルティフォイルパック （内容量 : 330ml（11.1 fl.oz） または 500ml（16.9 fl.oz）） 専用です。
黒のフォイルパックホルダー: 黒または赤のフォイルパックを使用してのヒルティ樹脂システムの作業用
赤のフォイルパックホルダー: 赤のフォイルパックを使用してのヒルティ樹脂システムの作業用
他社製フォイルパックを本体に取り付けることは許可されません。
本体はプロ仕様で製作されており、 本体の使用、 保守、 修理を行うのは、 認定、 訓練された人のみに限ります。 これらの人は、 遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。
本体の加工や改造は許されません。
取扱説明書に記述されている使用、 手入れ、 保守に関する事項に留意してご使用ください。
けがの可能性を防ぐため、 必ずヒルティ純正の、 アクセサリーや先端工具のみを使用してください。
本体の先端部を、 決して自分や周囲の人に向けないでください。
本体および付属品の、 使用法を知らない者による誤使用、 あるいは規定外使用は危険です。
作業区域としては、 建設現場、 工場での改修・改築・新築工事などが考えられます。
各国の労働安全衛生法に従ってください。

2.2 本体標準セット構成品

1 本体
1 保護メガネ
1 本体ケースまたはカートン梱包
1 取扱説明書
1 フォイルパックホルダー （黒）（オプション）
1 フォイルパックホルダー （赤）（オプション）

3 アクセサリー

HDM 330

名称	略号	製品の説明
フォイルパックホルダー	HIT CR 330	330 ml（11.1 fl.oz.）、 赤
フォイルパックホルダー	HIT CB 330	330 ml（11.1 fl.oz）、 黒

HDM 500

名称	略号	製品の説明
フォイルパックホルダー	HIT CR 500	500 ml（16.9 fl.oz.）、 赤
フォイルパックホルダー	HIT CB 500	500 ml（16.9 fl.oz.）、 黒

4 安全上の注意

注意！ 注意事項のすべてをよくお読みください。 この安全上の注意に従ってください。

4.1 作業場の安全確保

a) **作業場の換気に十分配慮してください。**
b) **作業場の採光に十分配慮してください。**
c) **作業場はきれいに保ち、 十分に明るくしてください。** ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
d) **本体の使用中、 子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。** 作業中に気がそらされると、 本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

4.2 作業者に関する安全

本体を使用の際には、 油断せずに十分注意し、 常識をもった作業をおこなってください。 疲れている場合、 薬物、 医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には本体を使用しないでください。 本体使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。

4.3 慎重な取扱いおよび使用

a) **本体は指示にしたがい、 必ず異常がない状態で使用してください。**
b) **必ず、 本体様に許可されたヒルティ純正のフォイルパックホルダーを使用してください。**
c) **損傷したフォイルパックホルダー / フォイルパックは使用しないでください。**
d) **本体、 フォイルパックホルダー支持用のホルダー、 プレッシャーピース付きフィードロットおよびフォイルパックホルダーは、 汚れていてはなりません。**
e) **本体のお手入れは慎重におこなってください。 本体の可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、 本体の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。**
f) **本説明書内の指示に従うとともに、 各形式に合った本体およびアクセサリーを使用してください。 この際、 作業環境および用途に関してもよくご注意ください。**
g) **本体は開いてはなりません。 修理は、 必ずヒルティサービスセンターにご依頼ください。**

4.4 個人保護用具

a) **本体の使用中は、 個人保護用具 (体に密着する保護メガネ / フェースガード、 保護手袋および保護服) を着用してください。** 個人保護用具の着用により、 負傷の危険が低減されます。
b) **作業位置の近くにいる人員も、 本体の使用中は個人保護用具を着用しなければなりません。**

5 ご使用方法

注意
はさみこみの危険！ フォイルパックホルダー取り付ける際は、 フォイルパックホルダーの支持部付近に手をおかないでください。

警告事項
ご使用になる前に、 製品の安全データシート、 梱包に記載された注意事項およびフォイルパックの取扱説明書をご覧ください。

5.1 フォイルパックホルダーの選択 2

注意
フォイルパックホルダーに損傷や汚れがないか点検してください。 2 本のピストンは、 フォイルパックホルダー内で円滑に動き、 前後いっぱいまで移動できなければなりません。 **損傷したフォイルパックホルダーや汚れの激しいフォイルパックホルダーは交換してください。**

注意事項
フォイルパックホルダーはアクセサリーとして提供されています。

フォイルパックの色に応じて適切なフォイルパックホルダーを選択してください。

黒のフォイルパックホルダー : 黒または白のフォイルパック
赤のフォイルパックホルダー : 赤のフォイルパック

5.2 フォイルパックをフォイルパックホルダーに装着する 3 4 5 6 7

注意事項
フォイルパックの使用上の注意事項に従ってください。

警告事項
フォイルパックに損傷がないか点検してください。 損傷したフォイルパックは決して使用しないでください。

1. リリースボタンを押したままにしてください。
2. フィードロッドを完全に引き戻します。
3. 下からフォイルパックホルダーを軽く押して本体から取り外します。
4. フォイルパックホルダーの取り付けられた本体の側方を片手でつかみ、 フォイルパックを前からストップ位置までフォイルパックホルダーに押し込みます。
5. ミキシングノズルをフォイルパックに完全にねじ込みます。

6. フォイルパックホルダーとフォイルパックを本体に取り付け、 軽く押してロックします （カチッと音がします）。

5.3 最初に吐出する樹脂を捨てる

注意
作業の開始時にミキシングノズルから吐出される樹脂は使用しないでください。 捨てる量は製品仕様により異なり、 それぞれの取扱説明書に記載されています。 同様にミキシングノズルを交換した際にも、 最初に吐出される樹脂は使わないでください。

警告事項
本体の先端部を、 決して自分や周囲の人に向けないでください。

警告事項
吐出は、 必ずミキシングノズルを取り付けた状態で開始してください。

注意事項
押出しが始まると、 フォイルパックは自動的に開きます。 ミキシングノズル部分で 2 液が混合されるのが確認できます。

1. フォイルパックが開いて樹脂がミキシングノズルから流出するまで、 操作レバーを繰り返しグリップ方向へ引いてください。
2. 操作レバーを 1 ストロークごとにグリップまで引いてください。
3. 予め設定したストローク数になったら、 リリースボタンを押してください。
4. 最初に吐出する樹脂は使用しないで捨ててください。
5. これで本体は、 使用可能な樹脂を吐出できる状態にあります。

5.4 吐出 8

注意
ミキシングノズルの交換の際は、 本体 / フォイルパックに圧力がかかっていてはなりません。

注意事項
未使用の期間が長いと、 ミキシングノズル内の樹脂は硬化します。 フォイルパックを再使用するには、 新しいミキシングノズルを取り付けてください。

注意事項
樹脂の使用に関する詳しい作業手順は、 フォイルパックの取扱説明書をご覧ください。

注意事項
使用済みのフォイルパックは、 フォイルパックホルダーにミキシングノズルをねじ込んだ状態で保管してください。 使用済みのフォイルパックは限られた期間内でのみ保管可能です。 製品の取扱説明書をご確認ください。

1. 操作レバーを繰り返しグリップまで一杯に引いてください。
2. 吐出を中止する場合は、 リリースボタンを押してください。
3. リリースボタンを押すことにより、 樹脂が後から流出するのを防止します。

5.5 フォイルパックの交換 9 10 11

1. リリースボタンを押したままにしてください。
2. フィードロッドを完全に引き戻します。
3. 下からフォイルパックホルダーを軽く押して本体から取り外します。
4. 空になったフォイルパックはミキシングノズルのところをつかんで、 フォイルパックホルダーから引き抜きます。
5. 新しいフォイルパックをストップ位置までフォイルパックホルダーに挿入し、 新しいミキシングノズルを取り付けます。
6. フォイルパックホルダーとフォイルパックを本体に取り付け、 軽く押してロックします （カチッと音がします）。

5.6 フォイルパックの廃棄

注意
空になったフォイルパックは、 所定の法規に従って廃棄してください。

注意事項
未使用、 使いかけ、 および完全に使い切ったフォイルパックの廃棄に関しては、 製品の取扱説明書または安全データシートをご覧ください。

5.7 フォイルパックホルダーを本体から取り出す 12 13 14

1. リリースボタンを押したままにしてください。
2. フィードロッドを完全に引き戻します。
3. 下からフォイルパックホルダーを軽く押して本体から取り外します。
4. フォイルパックホルダーを大きいシリンダーのところでつかみます。
5. フォイルパックホルダー後端のリリースボタンは押したままにしてください。
6. フォイルパックホルダーを後側ベアリングジャーナルから取り外します。
7. フォイルパックホルダーのアイを前側ベアリングジャーナルから抜き、 フォイルパックホルダーを本体から取り外します。

5.8 フォイルパックホルダーを本体に装着する 15 16

1. リリースボタンを押したままにしてください。
2. フィードロッドを完全に引き戻します。
3. フォイルパックホルダーのアイを本体の前側ベアリングジャーナルに差し込みます。
4. フォイルパックホルダーの後端を、 後側ベアリングジャーナルの下でロックするまでガイドします。
5. フォイルパックホルダーを本体に取り付け、 支持部のホルダーにしっかりとおさまるように軽く押し下げます （カチッと音がします）。

6 手入れと保守

注意
不意に吐出が行われることのないよう、 清掃作業を始める前にフォイルパックを取り外してください。

6.1 本体の手入れ

注意
本体、 特にグリップ表面を乾燥させ、 清潔に保ち、 オイルやグリスが付着していないようにしてください。

定期的に、 少し湿した布で本体表面を拭いてください。 フィードロッドには必要に応じてオイルを塗ってください。 本体およびホルダーに付着した樹脂は、 硬化する前にできるだけ早くウエスで取り除いてください。 硬化した樹脂は、 機械を使用してのみ取り除くことができます。 その際は、 損傷しないように注意してください。 スプレーやスチームあるいは流水などによる清掃は避けてください。 本体あるいはその部品は、 溶剤に漬けてはなりません。 フォイルパックホルダーのピストンは円滑に動く状態に保ってください。

6.2 手入れと保守を行った後の点検

手入れや保守を行った後は、 本体の可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、 部品に破損や損傷がないか、 本体が正常に作動するかを確認してください。

7 故障かな？ と思った時

症状	考えられる原因	処置
操作レバーが動かない。	フォイルパックホルダーが完全にロックされていない。	フォイルパックホルダーを「カチッ」という音が聞こえるまで完全にロックする。
	ミキシングノズル内の樹脂が硬化している。	リリースボタンを押す。 ミキシングノズルを交換する。
	フィード機構の故障。	本体を交換する。
フォイルパックが自動的に開かない。	本体が寿命に達した。	本体を交換する。
操作レバーの動きが滑らかでない。	フォイルパック温度が低すぎる。	フォイルパック温度を上げる （フォイルパックの取扱説明書を参照）。
	本体に対して吐出力が大きすぎる。	用途に合った工具を選択する。
フォイルパックホルダーを本体に完全に取り付けることができない。	フォイルパックが完全にフォイルパックホルダーに挿入されていない。	フォイルパックをストップ位置まで完全にフォイルパックホルダーに挿入する。
	フィードロッドが完全に戻っていない。	リリースボタンを押し、フィードロッドをエンドストップまで引き戻す。
フォイルパックホルダーがロックする 「カチッ」 という音が聞こえない。	ロックノッチが汚れている。	ロックノッチを清掃して、 フォイルパックホルダーを完全にロックする。
	ロックノッチの故障。	フォイルパックホルダーを交換する。 問題が再発する場合は、 ヒルティサービスセンターに連絡する。

8 廃棄

注意
装備を誤った方法で廃棄すると、 次のような危険があります ： プラスチック部分の燃焼時には人体に有害な有毒ガスが発生します。 廃棄について十分な注意を払わないと、 権限のない者が装備を誤った方法で使用する可能性があります。 このような場合、 ご自身または第三者が重傷を負ったり環境を汚染する危険があります。

本体の大部分の部品はリサイクル可能です。 リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。 多くの国でヒルティは、 本体や古い電動工具をリサイクルのために回収しています。 詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店 ・ 販売店にお尋ねください。

9 本体に関するメーカー保証

ヒルティは提供した本体に材質的または、 製造上欠陥がないことを保証します。 この保証はヒルティ取扱説明書に従って本体の操作、 取り扱いおよび清掃、 保守が正しく行われていること、 ならびに技術系統が維持されていることを条件とします。 このことは、 ヒルティ純正部品、 構成部品、 およびスペアパーツのみを本体に使用することができることを意味します。

上記以外の請求は、 厳格な国内法がかかる請求の排除を禁じている場合を除き一切排除されます。 とりわけ、 ヒルティは、 本体の使用目的の如何に関わらず、 使用した若しくは使用できなかったことに関して、 またはそのことを理由として生じた直接的、 間接的、 付随的、 結果的な損害、 損失または費用について責任を負いません。 市場適合性および目的への適合性についての保証は明確に排除されます。

修理または交換の際は、 欠陥が判明した本体または関連部品を直ちに弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店宛てにお送りください。

以上が、 保証に関するヒルティの全責任であり、 保証に関するその他の説明、 または口頭若しくは文書による取り決めは何ら効力を有しません。

Hilti Corporation
LI-9494 Schaan
Tel.: +423 / 234 21 11
Fax: +423 / 234 29 65
www.hilti.com

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan
W 4064 | 0612 | 00-Pos. 1 | 1
Printed in Germany © 2012
Right of technical and programme changes reserved S. E. & O.

2017694 / A2

Printed: 14.11.2013 | Doc-Nr: PUB / 5069961 / 000 / 01